

令和5年度安城市行政評価報告書に対する取組状況(概要)

～令和7年度取組結果～

事業名	令和7年度の主な取組結果
結婚記念品贈呈事業	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚新生活支援事業等の周知する取組として、こども課と連携し、同課が行う事業のチラシを市民課の待合で掲示・配布を行いました。 ・届出用紙を24時間入手できる環境の整備及び記念品の代替案の検討に係る取組として、昨年度に続き届出用紙を24時間入手できる環境整備に努めました。また、婚姻届提出者に、最新の内容を反映させた婚姻生活に関する小冊子を配布しました。
生活支援体制整備事業 (あんジョイ生活サポーター養成研修)	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者と雇用する事業所が情報交換を密に行うことができる場をつくる取組として、講座当日に、事業者9者が参加し、事業所から業務内容や求められる人材像等の話をしてもらい、受講者と情報交換を行いました。 ・研修内容の充実を図る取組として、講座のカリキュラムに、介護事業所の見学を加え、また土曜日にも開催したことで、受講者が令和5年度実績より7人増加し、20代～40代の参加につながりました。
健康づくり環境整備事業 (健康測定会)	<ul style="list-style-type: none"> ・保険者や商工会議所等と連携し、健康測定会のPRを行い、実施する取組として、保険者や商工会議所等と連携し、事前に事業所の健康課題を把握した上で、事業所のニーズに合わせた健康測定会や健康講話の提案を実施しました。また、保健所と事業所の取組事例を共有し、今後の効果的な取り組みについて検討しました。 ・健康づくりのきっかけとなる情報や好事例の周知啓発を行う取組として、保険者や商工会議所を通じて、事業所へ健康づくりのきっかけとなるように、様々な機会を通じて本市の健康づくり事業や取り組みの好事例について情報提供する等、周知啓発を行いました。
アグリライフ支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・農園の開設を支援する「市民ふれあい農園開設等支援事業」をPRする取組として、農業者向けの会議にてPRを行い、開設相談や問い合わせの対応をしました。また、市公式ウェブサイトの掲載方法を見直し、支援事業手続きのわかりやすい流れや、支援事業を活用した市民農園の事例を紹介しました。 ・土地を所有していないアグリライフ支援センター受講生が、卒業後も野菜づくりに携われるように支援するため、開設している「市民ふれあい農園」やJAあいち中央が窓口となる「農園」の空き状況をアグリライフ支援センターにて情報収集し、受講生に情報提供する取組の結果、修了時のアンケートでは49名中、16名が農地を探していましたが、そのうち14名の受講生が農地を借りることができ、引き続き野菜づくりに取組みました。
公園補修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地区公園のさらなる魅力の向上のための取組として、ワークショップや委員会等で把握した現状・課題を踏まえ各公園のコンセプトや整備方針を検討し、安城市地区公園基本構想(案)を策定しました。

令和5年度安城市行政評価 外部評価報告書の評価結果に対する取組方針シート

【基本事項】

事業No.及び事業名	1 結婚記念品贈呈事業	担当課	市民課
事業内容	本市に婚姻届を提出された方に、記念品としてデンパークの入園券(2枚)をお渡ししています。		
外部評価での論点	令和4年度から婚姻届及び出生届出用紙のデザインに本市のモチーフを使用したことで、届出用紙で本事業の目的である「市への愛着を持っていただく」ことや「市のPR」を行えるようになりましたので、事業自体の廃止も含めて検討したいと考えています。		

【評価結果】

評価結果	廃止
担当課に取組を求める内容	安城をPRするという目的からすると、オリジナル届出用紙で可能であるから、本事業は廃止で問題ないと判断する。ただ、多くの人を呼び込み、居住を促進することが市の活性化につながることから、組織横断的な連携を図り、市のPRと本市への愛着醸成に対して効果的な事業に経営資源を配分されたい。

【取組方針及び実施計画等】

評価結果を踏まえた取組方針	第9次総合計画に基づき「結婚新生活支援事業」等の結婚を支援する事業を開始します。健幸=SDGs課と市民課が連携し、事業の効果が高まるよう工夫していきます。また、結婚しやすい環境作りとして、結婚する方への祝意と安城市らしさをデザインに取り入れた婚姻届出用紙を入手しやすい状況を整えることで市のPRを図るとともに、廃止する記念品の代替案の検討を続けていきます。
---------------	--

項目	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
結婚新生活支援事業等の周知	取組	健幸=SDGs課(※)と連携し、同課が行う事業のチラシを転入者及び婚姻届提出者に配布		
	実績	企画政策課プロジェクト推進室と連携し、同課が行う事業のチラシを市民課の待合で掲示・配布を行いました。	昨年度に続き、こども課(※2)と連携し、同課が行う事業のチラシを市民課の待合で配布しました。	
オリジナルデザインの婚姻届出用紙の配布及び記念品の代替となるものの検討	取組	届出用紙を24時間入手できる環境の整備及び記念品の代替案の検討		
	実績	届出用紙を市ホームページからダウンロードできるようにするとともに閉庁時は宿直室で入手できるようにしました。婚姻届提出者に、婚姻生活に関する小冊子を配布しました。	昨年度に続き届出用紙を24時間入手できる環境整備に努めました。婚姻届提出者に、最新の内容を反映させた婚姻生活に関する小冊子を配布しました。	

(※)「健幸=SDGs課」は令和6年度から「企画政策課」に課名が変わりました。

(※2)結婚新生活支援事業は令和7年度からこども課の所管となりました。

令和5年度安城市行政評価 外部評価報告書の評価結果に対する取組方針シート

【基本事項】

事業No.及び事業名	2 生活支援体制整備事業(あんジョイ生活サポーター養成研修)	担当課	高齢福祉課
事業内容	「掃除」「洗濯」等専門的な知識がなくても身体介助を必要としない方への生活援助を行う担い手を養成するため、市指定のあんジョイ生活サポーター養成研修を実施します。		
外部評価での論点	<p>上記で挙げた問題につき以下の仮説をたて、解決の取組を考えました。</p> <p>①受講者が減少していることについて仮説:2日間で11時間のカリキュラムが長い。取組:カリキュラムの短縮(2日から1日)を図り、興味のある者が気軽に参加できるようにします。</p> <p>②研修修了者の年齢が高い。仮説:周知方法に工夫が足りなかった。取組:これまで主に定年後の生きがいづくりやボランティアに興味がある人達を対象に参加者を募ってきました。今後は周知方法と研修内容を変更して、異なる年齢層の取り込みを目指します。具体的には、市内小中学校にも募集チラシを配布することで、将来介護職を目指す若者や子育てが一段落し就労を考える保護者の参加を促します。</p>		

【評価結果】

評価結果	要改善
担当課に取組を求める内容	介護職に就く本研修の修了生を増やすことにより将来の介護人材不足に備えるという、本研修の目的を達するには、研修対象者を広く捉え、対象に合わせた効率的なアプローチが有効ではないか。また、研修修了者の進路等の実態把握やシルバー人材センター等との連携により、研修内容の改善や受講者増加の対策を進めることが必要である。

【取組方針及び実施計画等】

評価結果を踏まえた取組方針	最終目的は介護職に携わる質の高い人材を多く養成することですが、現実的には養成研修の受講者自体が少ないため、まず受講生を増やすことに重点を置いた取組を進めていきます。また、他先進事例の情報収集に加え、雇用先となる可能性のある事業所等と連携し、効果的なアプローチ方法の検討と研修内容の充実を図ります。
---------------	--

年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
研修を含めた事業内容の周知及び関係機関との連携強化	取組	制度の位置づけや必要性について理解を深めてもらうため、本研修だけでなく生活支援体制整備事業自体の周知に注力する。	受講者と雇用する事業所が情報交換を密に行うことができる場をつくる。	研修修了者や雇用先となる事業所に対し調査を行ったうえで、ニーズを把握し事業内容に反映させる。
	実績	研修講師の派遣が難航し、事業自体の周知まで注力できませんでしたが、生活支援体制整備事業を推進する会議において、住民や企業等に参加いただき生活課題の解決に向けた協議を行いました。	講座当日に、事業者9者が参加し、事業所から業務内容や求められる人材像等の話をしてもらい、受講者と情報交換を行いました。	
研修内容の充実	取組	他市の研修内容等も参考にし、受講者が求める研修日程や時間、内容について広くリサーチして研修内容に反映する。	調査内容を踏まえた研修を実施し効果を検証する。	調査内容を踏まえた研修を実施し効果を検証する。
	実績	過去実施したアンケート内容等を研修に反映させ、研修内容の充実を図りました。	講座のカリキュラムに、介護事業所の見学を加え、また土曜日にも開催したことで、受講者が令和5年度実績より7人増加し、20代～40代の参加につながりました。	

令和5年度安城市行政評価 外部評価報告書の評価結果に対する取組方針シート

【基本事項】

事業No.及び事業名	3 健康づくり環境整備事業(健康測定会)	担当課	健康推進課
事業内容	市内で健康測定会(体組成測定、骨強度測定、血管年齢測定、食育SATシステム、脳年齢測定等)を実施し、その結果を踏まえて助言を行い、健康づくりを自発的に始めるきっかけを作ります。		
外部評価での論点	令和5年度は企業にアプローチし、勤労世代に向けて働く場での健康測定会を実施し、啓発を行っていく予定です。関心のない方に少しでも関心を持っていただくことや、少し関心があるけれど行動に移せていない方へのアプローチについて、この事業の中でより効果的なアプローチ方法を検討したい。		

【評価結果】

評価結果	要改善
担当課に取組を求める内容	健康に関心を持つきっかけとなるよう保険者等と連携し、保険者等の取組に合わせたアプローチを図るとともに、健康測定会の趣旨をわかりやすく伝えるよう工夫されたい。また、企業との連携等他の方法については、健康測定会以外にも、良い取組事例を紹介する等積極的に検討されたい。

【取組方針及び実施計画等】

評価結果を踏まえた取組方針	国民健康保険や協会けんぽ等の保険者、商工会議所、各企業と連携を図るなかで勤労世代への効果的なアプローチの方法を検討し、健康測定会の趣旨を分かりやすく伝えるとともに、健康づくりのきっかけとなる情報や好事例の周知啓発等を継続して実施します。
---------------	--

項目	年度			
		令和6年度	令和7年度	令和8年度
保険者や商工会議所等との取り組みに合わせたアプローチを実施	取組	保険者や商工会議所等へのヒアリングを行い、効果的なアプローチの方法を検討。	保険者や商工会議所等と連携し、健康測定会のPRを行い、実施する。	保険者や商工会議所等と連携し、健康測定会のPRを行い、実施する。
	実績	保健所や保険者、商工会議所等へヒアリングを行い、事業所にアプローチする手法として健康経営に関するモデル事業の実施を検討しました。また、保健所主催の地域職域連携推進協議会において事業所の取組事例を共有しました。	保険者や商工会議所等と連携し、事前に事業所の健康課題を把握した上で、事業所のニーズに合わせた健康測定会や健康講話の提案をし実施しました。また、保健所と事業所の取組事例を共有し、今後の効果的な取り組みについて検討しました。	
商工会議所等と連携し、健康づくりのきっかけとなる効果的な取り組みについて周知啓発を実施	取組	商工会議所や企業等へ取り組みの好事例についてヒアリングを行い、商工会議所メルマガ等を活用した啓発方法について検討する。	健康づくりのきっかけとなる情報や好事例の周知啓発を行う。	健康づくりのきっかけとなる情報や好事例の周知啓発を行う。
	実績	商工会議所や企業等へ、好事例の取組についてヒアリングを行い、啓発方法を検討しました。その結果、商工会議所メルマガや事業所向け会報誌等を活用し、周知啓発を行いました。	保険者や商工会議所を通じて、事業所へ健康づくりのきっかけとなるように、様々な機会を通じて本市の健康づくり事業や取り組みの好事例について情報提供する等、周知啓発を行いました。	

令和5年度安城市行政評価 外部評価報告書の評価結果に対する取組方針シート

【基本事項】

事業No.及び事業名	4 アグリライフ支援事業	担当課	農務課
事業内容	初心者・親子向けの野菜づくり講座を実施します。		
外部評価での論点	野菜作り実践コース(一年間)の開講。 畑・樹園地お見合いシステムの紹介、運用。 区画数の検討。 将来に向けて維持、拡充の検討。		

【評価結果】

評価結果	拡充
担当課に取組を求める内容	初心者・親子向け講座の人気の高さに見られるように、農業に関心が高い市民が多いことから、耕作していない農地の積極的な活用等による圃場の拡大を検討し、住民ニーズに応えることを期待したい。また、農地の貸借に対する潜在的なニーズはあることから、耕作していない農地の解消のため、畑・樹園地お見合いシステムをより使いやすい形に改善されたい。

【取組方針及び実施計画等】

評価結果を踏まえた取組方針	耕作していない農地等を有効活用するため、畑・樹園地お見合いシステムのほかに農園の新設を促します。 土地を所有していないアグリライフ支援センター受講生が、卒業後も野菜づくりに携われるように支援します。
---------------	--

項目	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
耕作していない農地等を有効活用するため農園の新設を促します	取組	・農園の開設を支援する「市民ふれあい農園開設等支援事業」をPRする	・農園の開設を支援する「市民ふれあい農園開設等支援事業」をPRする ・「市民ふれあい農園開設等支援事業」の活用事例を紹介する	・農家の開設を支援する「市民ふれあい農園開設等支援事業」をPRする ・「市民ふれあい農園開設等支援事業」の活用事例を紹介する ・市が管理する新たなほ場確保に向け検討する
	実績	市公式ウェブサイトや農業者向けの会議にてPRしました。また、窓口や電話で、相談や問い合わせの対応をしました。	農業者向けの会議にてPRを行い、開設相談や問い合わせの対応をしました。また、市公式ウェブサイトの掲載方法を見直し、支援事業手続きのわかりやすい流れや、支援事業を活用した市民農園の事例を紹介しました。	
土地を所有していないアグリライフ支援センター受講生が、卒業後も野菜づくりに携われるように支援します	取組	・開設している「市民ふれあい農園」やJAあいち中央が窓口となる「農園」の空き状況をアグリライフ支援センターにて情報収集する ・アグリライフ支援センターで受講生に情報提供する	➔	・受講生に情報提供を続け、希望する受講生全員が、受講終了時から引き続き野菜づくりに携われることができるようにする
	実績	「市民ふれあい農園」や「JA窓口の農園」の情報収集し、台帳や地図を整備しました。また、アグリライフ支援センター受講生へ情報提供できるようにしました。		修了時のアンケートで49名中、16名が農地を探していましたが、そのうち14名の受講生が農地を借りることができ、引き続き野菜づくりに取組みました。

令和5年度安城市行政評価 外部評価報告書の評価結果に対する取組方針シート

【基本事項】

事業No.及び事業名	5 公園補修事業	担当課	公園緑地課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した公園施設を長寿命化計画に基づき更新工事を実施しています。 ・公園リニューアル計画に基づき公園のリニューアル整備を実施しています。 ・不具合が生じた公園施設の修繕工事などを行っています。 		
外部評価での論点	昭和期に整備した36か所の街区公園の中から優先順位の高い15か所の街区公園のリニューアルを進めています。今後は近隣公園や地区公園などの大きな公園のリニューアルも必要となってきますが、こうした状況の中で、残りの街区公園についてもリニューアルを進めるべきでしょうか。		

【評価結果】

評価結果	要改善
担当課に取組を求める内容	地域住民のニーズを汲み取ったリニューアルも重要であるが、公園に対するニーズや公園の使われ方は、社会環境とともに変化することから、今後は市全体でどのような公園が求められているかを見極めた上、特色のある公園づくりを進められたい。

【取組方針及び実施計画等】

評価結果を踏まえた取組方針	市全体でどのような公園が求められているかを見極めるにあたり、利用者が限られている街区公園ではなく、秋葉公園を始めとした利用者が広範囲である地区公園について市民ニーズを把握するなどして、さらなる魅力の向上が図られる公園づくりを進めます。
---------------	---

項目	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	地区公園のさらなる魅力の向上	取組	地区公園4箇所について、市民ニーズを把握し、課題を抽出する。	地区公園4箇所について、現状や課題を踏まえ、各公園のコンセプトや整備方針の検討を行い、基本構想を策定する。
実績		市民アンケート等により、地区公園のニーズを把握するとともに、現状における課題を整理しました。	ワークショップや委員会等で把握した現状・課題を踏まえ各公園のコンセプトや整備方針を検討し、安城市地区公園基本構想(案)を策定しました。	